

広島市歯科医師会だより



11月号

一般社団法人広島市歯科医師会

Hiroshima City Dental Association

No.151 (R1.11.13)

目次

EXTRA!! 第36回健康ソフトボール大会	1ページ
行事報告	
令和元年度 広島市歯会保険講習会	2ページ
令和元年度 広島県歯科医師会 第2回保育施設での歯科疾患及び 歯科保健活動の実態調査会議	2ページ
広島キッズシティ2019	3ページ
第52回十三大市歯科医師会役員連絡協議会	4ページ
第4回 支部長・副支部長会議	6ページ
HOME ぽるフェス大人博 2019	7ページ
役員自己紹介(森本慎樹理事・藤田友昭理事)	8ページ
会長コラム『柔しく剛く』	10ページ
支部だより	
中区支部	11ページ
東区支部	17ページ
南区支部	20ページ
西区支部	23ページ
各部からの報告	
節目年齢歯科健康診査料及び妊婦歯科健康診査料のお知らせ(地域歯科保健部)	25ページ
今月の知っておきたいこと(広報部)	26ページ
FMちゅーピー(広報部)	28ページ
誰もが納得! I LOVE 広島弁じゃけえ。(広報部) 新連載	29ページ
10月定例理事会報告	30ページ

EXTRA!

熊谷会長、第 36 回健康ソフトボール大会にて

大爆笑の選手宣誓！



選手宣誓をする熊谷宏会長

大会に参加した選手



10月20日(日)、前日まで空模様が不安定な中、第36回健康ソフトボール大会当日は晴れ男が集まったのであろう、天候に恵まれ無事開催の運びとなった。選手宣誓は熊谷宏本会会長が行った。

「たとえ先月の血液検査でγGTPが300を越えていようとも、富士見株式会社を通じて契約している所得補償保険がきっと助けてくれることを信じて、今晚の打ち上げのビールを楽しみに正々堂々戦い抜くことを誓います！」と本人はいたって真面目に宣誓しているのだが、会場全体は爆笑の渦に巻き込まれ試合前の緊張がすっと抜けた素晴らしい宣誓だった。審判団にも好評で肩の力が抜けて各試合すばらしいジャッジができたことと思う。

さて、広島市からエントリーの各区支部チームは、中区チーム、西区チームは昨年に引き続きBクラス、南区チームは昨年Cクラスで優勝しBクラスへ昇格、そしてBクラスへの昇格を狙う東区チームはCクラスのスタートであった。

第1試合目、いきなりBクラスで中区と南区の激突。大接戦の末8対7で南区のサヨナラ勝ち。西区は安芸Aとの試合、13対1で大敗を喫した。その後それぞれ第2試合目が行われ、中区は今度は西区と激突！6対5で西区が勝利。結果中区はBクラスからCクラスに降格、西区、南区はBクラス残留。Cクラスの東区は第1試合目を9対7で勝利を納め第2試合目は役職員との試合で結果来年はBクラスに昇格となった。

詳しくは各部だよりの報告に委ねることとしよう。

本年も参加メンバーが不足しているチームもあるので参加可能な先生がいらっしゃれば、遠慮なく参加の方、宜しくお願い致します。

Bクラス 広島市中区

1戦目	広島南	8-7	広島中
2戦目	広島西	6-5	広島中

Bクラス 広島市南区

1戦目	広島南	8-7	広島中
2戦目	安芸A	19-2	広島南

Bクラス 広島市西区

1戦目	安芸A	13-1	広島西
2戦目	広島西	6-5	広島中

Cクラス 広島市東区

1戦目	広島東	9-7	安芸B
2戦目	役職員	4-2	広島東

行事報告

令和元年度 広島市歯会保険講習会

日時：8月29日(木)午後7時30分

場所：県歯科医師会館2階「ハーモニーホール」

講師に県歯会より森本進常務理事(保険部長)、川本博也理事、二井亮理事をお迎えし、標記の会が開催された。森本慎樹総務部理事の司会で始まり、熊谷宏会長の挨拶があった。演題は「保険算定上の留意点」で、次年度の法律改正の方向性についてや、保険請求のポイントについて幅広く、わかりやすく解説を頂いた。本講習会には148名の出席があり、会員の正しい保険請求の一助になった。



講演会の様子

令和元年度 広島県歯科医師会 第2回保育施設での 歯科疾患及び歯科保健活動の実態調査会議

日時：9月18日(水)午後7時30分

場所：県歯会館5階「503会議室」

本会議は「子どもの歯と口の健康格差解消」を目指す県歯会の取り組みの一環として、県内保育施設における歯科疾患及び歯科保健活動の実態を明らかにすることを目的に昨年度より活動している。その本年度第2回会議が9月18日に開催され、本会の有馬隆理事(学校保健担

当)、濱岡代枝地域歯科保健部副委員長(学校保健担当)及び森川英彦地域歯科保健部副委員長(地域保健担当)らが出席した。

会議は上田裕次県歯会理事の挨拶で開会し、続いて加藤正昭同会議副委員長が第58回広島県歯科医学会での

発表内容等について報告した。続いて、有馬理事が作成中の報告書について、表現の工夫やイラストの多用等により保育現場で活用され得るものとして完成させるなどの編集方針を説明し、委員間で活発な協議を行った。その結果、提出された報告書原案が概ね了承され、更に作業を継続すること等を決めた後、細原賢一オブザーバー(前県歯理事)の挨拶により閉会した。

今後、同会議は年度内の報告書完成とその県内保育施設への配布を目標として活動を継続することになっている。

設への配布を目標として活動を継続することになっている。



会議の様子

広島キッズシティ 2019

日時：10月5日(土)午前9時

場所：県立広島産業会館

標記イベントが広島キッズシティ 2019 実行委員会主催のもと行われた。

様々な職業体験ができる「子供が主役のまち」で、子供たちが自らの意志で一步踏み出す体験を通じ、子供たちが本来持っている「自ら育つ力」の醸成を支援するという趣旨に鑑み、本会では、「広島キッズ歯科医院」と称し、歯医者さん体験ブース出店を行なった。また、広島県技工士会にも協力していただき、「広島キッズ歯科技工所」と称し指模型作製も同時に行なった。

事業当日、出務した地域歯科保健部委員と1時間ブース運営を手伝ってくれるキッズアルバイトを16人受け入れた。ブースでは、来場した子供たちが、白衣を着ての記念撮影、マネキンとポータブルユニットを用い、口腔内診査、人工歯切削、光C R充填を行い、最後に、歯科医療の重要性を示す啓発資料などを渡すという一連の流れで行った。また、技工士会ブースでは、指模型の作製を行った。両ブースを通じて、歯科診療の流れや各職業の役割などの体験をした。

全体来場者数が約1500人と例年ほど伸びない中で、当ブースでは69人と例年通りの体験者数であった。中には、1日に2回体験する子供や、昨年体験した子供が今年も体験を希望するなど、非常に満足度が高いことが伺えた。

当ブースの運営に携わった小学生からの感想として「子供たちの両親も笑顔で見ている」、「楽しかった」、「歯科医院ブースが一番本格的だった」、「将来歯科医師を目指したい」等、ブース運営した子供たちにとっても、充実度の高さが伺える内容であった。

本イベントのブース出展は5度目である。例年通り、市民とともに楽しめるこのようなイベントは体験した子供のみならず、その両親にも、一部ではあるが歯科医療の重要性を示す良い機会となると考える。広島キッズシティは今年度で終了とのことであるが、今後もこのような子供の啓発イベントがあれば、積極的に参加していく予定である。

なお、前日準備作業には藤田理事、当日運営には有馬

理事、藤田理事、前田羊一委員長、濱岡代枝副委員長、
豊田育星委員、岡田浩幸委員、尾山奈々子委員が出務し

た。



ブースの様子

第 52 回十三大市歯科医師会役員連絡協議会

日時：10月5日(土)午後2時

場所：横浜市開港記念会館

十三大市歯科医師会連絡協議会は、新潟市、川崎市、熊本市、名古屋市、神戸市、北九州市、広島市、札幌市、福岡市、仙台市、さいたま市、岡山市、横浜市の13指定都市の歯科医師会で、共通した地方自治体と関連ある都市の市民の保健・医療・福祉の向上及び歯科医師会相互の発展向上に寄与することを目的とする協議会で、第52回の役員連絡協議会が横浜市歯科医師会の主幹でメインテーマ「未来予想図：政令市歯科医師会の2032年」として、執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、森本慎樹理事が出席して下記要項にて開催された。

- 1.開会の辞 横浜市歯科医師会 田代茂樹副会長
- 2.挨拶 横浜市歯科医師会 杉山紀子会長
- 3.来賓の辞 横浜市 荒木田百合副市長
日本歯科医師会 堀憲郎会長
神奈川県歯科医師会 松井克之会長
参議院 島村大議員
- 4.出席者紹介
- 5.基調講演 令和における歯科医療の姿
～2040年を見据えた歯科ビジョン構築に向けて～
日本歯科医師会 堀憲郎会長
- 6.分科会Ⅰ 地域包括ケアシステムへの対応
(テーマ)「口から食べる」を育て、守り、支援する
～13政令都市が取り組むために～
執行部から瓜生賢副会長と能美和基専務理事が参加
- 分科会Ⅱ 将来の歯科医師の人口構成への対応
(テーマ)歯科医師会の未来をシミュレートする
～多様性を受け入れるために～
執行部から熊谷宏会長と森本慎樹理事が参加

- 7.分科会報告 分科会Ⅰ横浜市歯科医師会 二宮威重
分科会Ⅱ横浜市歯科医師会 坂本揺子
- 8.協議会 当協議会規約の改定について
災害協定の改定について
共同宣言について
議 長：横浜市歯科医師会 杉山紀子会長
副議長：新潟市歯科医師会 荒井節男会長
- 9.共同宣言
- 10.次回予告 新潟市歯科医師会 荒井節男会長
- 11.閉会の辞 横浜市歯科医師会 吉田直人副会長



(左から)能美和基専務理事、瓜生賢副会長、熊谷宏会長、森本慎樹理事(左)
協議会の様子(右)

共同宣言

私たち十三指定都市歯科医師会は市民の健康の維持・増進に協力し、長年にわたり歯科口腔保健、歯科医療などの重要性の啓発に努めてまいりました。

そして、私たちの活動を後押しするかのようには平成23年には「歯科口腔保健の推進に関する法律」が施行され、すべてのライフステージにおける歯科口腔保健の推進が求められるとともに、保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育などの関連施策との有機的な連携の必要性も示されました。

また、平成30年度の診療報酬改定では、小児口腔機能管理加算と口腔機能管理加算が新設され、口腔機能の重要性に関しても注目されることとなりました。

このように私たち歯科界に対するニーズは保健、医療など多岐にわたり、将来はさらに多様化し増大することが予想されます。

一方、近年のわが国の人口構成の変化は、私たち歯科界においても歯科医師の高齢化、歯科医師数の減少、歯科医師会組織率の低下などを招き、将来の歯科を取り巻く環境に多大な影響を及ぼすことが予測され、喫緊の課題として対策を行う必要に迫られています。

そこで、十三指定都市歯科医師会は、「第52回十三大市歯科医師会役員連絡協議会」において、『未来予想図：政令市歯科医師会の2032年』をテーマに、『口から食べる』を育て、守り、支援するための「地域包括ケアシステムへの対応」、及び「歯科界をとりまくさまざまな環境変化への対応」について行われた協議を踏まえ、これからの歯科医療の充実と歯科口腔保健の推進を願い、次の宣言をいたします。

1. 私たち指定都市歯科医師会は、相互の連携を強化して情報の共有化を図り、都市化の進行に伴う環境変化に対応し、都市の歯科保健および歯科医療の将来に向け鋭意、検討・協議し、市民の生涯にわたる健康維持・増進に寄与します。

2. 私たち指定都市歯科医師会は、「歯科口腔保健の推進に関する法律」の理念のもと、日本歯科医師会と協同しながら、地域包括ケアシステムを通して、「口から食べる」を育て・守り・支援していきます。
3. 私たち指定都市歯科医師会は、将来の歯科界を取り巻く需要と供給を予測し、知識・技術の研鑽を積むとともに、多様性を受け入れながら人材の育成にも寄与し、組織率の向上を目指します。

令和元年10月5日

「第52回 十三大市歯科医師会役員連絡協議会」参加者一同

第4回 支部長・副支部長会議

日時：10月16日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事が出席した。始めに熊谷会長より「10月5日に横浜で開催された十三大市歯科医師会役員連絡協議会に行ってきました。メインテーマが『未来予想図：政令市歯科医師会の2032年』で歯科医師会における会員の高齢化などの課題について各市の歯科医師会と協議、情報共有してまいりました。本会といたしましても各区のご協力を得ながら問題に対応していく所存ですので、ご協力の方お願いいたします。」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告			
中区支部		南区支部	
8月24日	江波圏域多職種連携会議	8月23日	南区支部納涼会及びソフトボール団結式
8月26日	中区ケアマネジメント会議	8月27日	南区在宅医療・介護関係者研修会
8月31日	広島市歯科医療福祉対策協議会総会	8月31日	広島市歯科医療福祉対策協議会総会
9月4日	第17回災害時医療研修会	9月1日	介護予防事業に携わる専門職のための基礎研修会
9月18日	ソフトボールチーム中締め会	9月3日	南区支部理事会
9月20日	新入会希望者面談	9月27日	県立広島病院地域連携懇談会
9月27日	第11回国泰寺圏域多職種連携会議	9月30日	段原包括圏域在宅医療・介護関係者連絡会
10月1日	中区支部説明会	10月3日	宇品・似島包括圏域在宅医療介護関係者研修会・連絡会
10月6日	中区健康よろず相談	10月9日	南区支部理事会
東区支部		10月11日	楠那地区包括圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会
7月5日	東区多職種連携の会～ひがしの絆～	西区支部	
8月24日	第1回東区支部会および納涼会	8月24日	西区支部納涼ビアパーティ
8月29日	認知症けあカフェ in 矢賀	8月29日	庚午圏域医療と介護の連携会議
8月31日	広島市歯科医療福祉対策協議会総会	8月31日	広島市歯科医療福祉対策協議会総会
9月2日	第1回フェイスネット研修会	9月11日	五福の会情報交換会
9月12日	認知症けあカフェ in 牛田	9月12日	観音地域包括「観音認知症応援団」
9月27日	在宅医療介護連携企画会議、地域保健対策協議会常任理事会		
9月29日	東区老人クラブ連合会		
9月30日	第2回フェイスネット研修会		

9月14日 ソフトボール合同練習
9月25日 令和元年度災害対策医療研修会
9月26日 己斐上圏域 医療と介護の連携会議
9月27日 県立広島病院 地域連携歯科懇談会
10月10日 西区支部例会

協 議

①執行部

- ・水銀に関する水俣条約について
- ・軽減税率への対応について

②中 区

- ・地域保健対策協議会多職種連携会議への代診医師の参加の取り扱いについて
- ・広島ホームテレビ事業と健康ソフトボール大会について
- ・歯科医院検索・予約サイト運営会社の無料お試し期間について
- ・健康ソフトボール大会練習諸経費について

③東 区

- ・老人クラブ連合会等のイベント出展について

HOME ぼるフェス大人博 2019

日時：10月19日(土)・10月20日(日)午前10時

場所：紙屋町シャレオ中央広場

本年も子どもたち(幼児～中学生)に、大白歯1級窩洞レジン充填の体験と、希望者には診療衣着用し記念写真撮影を行うブース出展を行った。今年で6回目の参加となった。

ただ今年は、出展場所が新しい場所であり例年に比べて通りかかる子どもが少ないことや、今年のイベントテーマが大人をターゲットに変換されたことから大人の方

にも体験して頂くようにした。19日(土)161名、20日(日)109名の合計270名に参加をいただき、歯科医師会活動を理解していただく機会となり無事終了となった。

なお、学術部委員の他、新入会員の安達厚氏・川本賀奈子氏・櫻井博之氏・地守宏紀氏・藤岡光氏・松村興一郎氏・森本直嗣氏と事務局員のお手伝いをいただいた。



ブースの様子

役員自己紹介

森本慎樹理事

総務部理事を拝命しました森本慎樹と申します。平素より会員の先生方には大変お世話になっております。総務部は、保険何でも相談・保険講習会の開催等の保険部業務、歯科医療に関する会員や市民からの相談・医院経営に対する研修会の開催等の医療管理関連業務、広島大学病院歯科臨床研修医セミナーの開催、開業・入会相談などを担当しております。まだ色々不慣れなこともあります、精一杯頑張っていこうと思いますので、よろしくお願いいたします。



家族写真

私は、安古市高校から岡山大学に進学し、卒業後市内の開業医に6年間勤務した後、平成19年に広島市西区己斐上で開業いたしました。歯科医師会に入会后、市の公衆衛生部に6年間、県の保険部に8年間携わってきました。これらの部で学んだことを生かしつつ、総務部の職務に邁進していく所存です。



釣果 (サゴシ・真鯛)

写真は昨年末に撮った家族写真です。家族構成は妻と小6、小1の娘とミニチュアダックスフンド1匹です。子供がまだ小学生2人なので手がかり大変ですが、そのうち父親離れをしていくことを考えると一緒に勉強したりお風呂に入ったりすることを今のうちに楽しんでおこうと思っています。

さて、ここからは私の趣味の話をしたと思います。大学時代は硬式テニス部に所属し、6年間デントルに行きましたが、最近はテニスを全くやらなくなってしまいました。運動といえば年一回の健康ソフトボール大会のみという悲惨な状況です。しかし、運動にはあまりなりません最近海に釣りに出るようになりました。もともと小さいころから釣りが好きで、海・川・湖で色々な釣りをしていました。釣りのなかでも大好きな釣りは、ジギングとタイラバという釣りです。どちらも簡単に言えばルアーみたいなもので魚を釣り上げるのです。釣れる魚は、ハマチ、鱈、スズキ、タイ、マゴチ、太刀魚、アコウ、ヒラメなど多種多様な魚が釣れます。結構、大型の魚が釣れるため釣り上げるまでに、魚との白熱したやり取りが楽しめます。大型の鰺などが釣れた場合は、釣り上げるまでに10分~20分くらいかかることもあります。たまに海に出て気分転換をしながら、診療・会務に頑張っていこうと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



釣果 (ブリ・サワラ)

藤田友昭理事

この度、本会地域歯科保健部理事を拝命いたしました、西区の藤田友昭です。

平成24年に入会し、入会以来当時公衆衛生部(現地域歯科保健部)の委員、副委員長を経て、本年度地域歯科保健部理事を拝命いたしました。

若輩者ですが、ご迷惑かけないように、一生懸命邁進してまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、さっそく自己紹介をさせていただきます。昭和56年11月5生まれ、中筋小学校、東原中学校、広島大学附属高等学校を経て、広島大学歯学部に入会し、歯科医師となりました。



広島青年会議所多文化共生事業
「GLOBAL FES」での司会



息子と野球観戦

話は変わりますが、ラグビーワールドカップ盛り上がりましたね！！私も大学時代、広島大学霞ラグビー部として、肝心の勉強はそっちなので、日々練習と筋トレに励んでおりました。

今はその面影はないくらい、お腹が出てしまっていますが、当時はキャプテンを務めさせていただくほど、引き締まった体でした。

現在は、本会の理事職の傍ら、広島青年会議所という組織で、人脈を増やすとともに、様々な事業に関わり、広島のまちづくり、ひとづくりの経験をさせていただいております。

熊谷会長も広島青年会議所の卒業生で、青年会議所入会前よりお世話になっております。今回理事のお話をいただいたときも「YES or Very YES」の二択でした。

今後は広島青年会議所の先輩である熊谷会長のもと、自分なりに担当である地域包括ケアシステムに歯科医師会が遅れをとらないよう、職務を遂行していこうと考えております。

最後に、会員の先生方におかれましては、会務に対してご理解、ご協力の程何卒よろしくお願いいたします。



娘と釣り

10月5日(土)横浜市歯科医師会の主管で開催された十三大市歯科医師会役員連絡協議会に、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、及び森本慎樹総務部理事とともに参加してきました。この協議会は、政令指定都市の歯科医師会がその共通した環境の中で、市民の保険・医療・福祉の向上及び歯科医師会相互の発展向上に寄与する目的で行われるものです。昭和43年に第1回が5つの歯科医師会が参加して始まり、52回目を迎える現在は13の政令指定都市の歯科医師会が参加しています。今回のメインテーマは、「未来予想図：政令市歯科医師会の2032年」でした。2032年の根拠は、現在13の歯科医師会が参加していることから、今回主管の横浜市歯科医師会が次回主管する13年後の2032年をターゲットとしたとのこと。会場は横浜市開港記念会館という歴史的建造物で、大変趣のある雰囲気の中開催されました。

今回のだよりに報告があると思いますので詳細は省きますが、2つの分科会のうち、私は森本理事とともに、「歯科医師会の未来をシミュレートする。～多様性を受け入れるために～」をテーマに、将来の歯科医師の人口構成への対応について協議された分科会Ⅱに参加しました。私は、就任時

の会長方針で述べたように、会員の高齢化(終身会員比率の増加)に対応した本会財政健全化施策の立案・実施が将来に向けた大きな課題だと考えており、まさに我が意を得たりのテーマということで、担当部署である総務部の森本理事と参加したわけです。

この協議会では、毎回事前にテーマに関するさまざまなアンケート調査を行い、その分析データを得ることができます。今回でいえば、各歯科医師会の収入内訳(会費収入、補助金収入、委託料収入、事業収入などの比率)、各歯科医師会が行っている将来の会員減少に対する対応・女性歯科医師への取り組みなどについてです。このデータを元に、大変充実した協議や情報交換が行われます。このように、毎回会務運営にとって非常に有意義な情報をえることができる会議です。

今回は特に、総務部にお願いしている、「将来の会員構成の将来予測」「それに伴う本会財務の将来予測」については、その方法論などで大変有意義な情報を得ることができました。さっそく持ち帰り、今後総務部で検討していただく予定です。

会長コラム (第4回)

柔しく剛く

十三大市歯科医師会役員
連絡協議会に参加して

熊谷 宏

私たちは、基本的には広島県歯科医師会、広島市歯科医師会しか知りません。しかし、他の都道府県歯科医師会や郡市区歯科医師会の先生方と話していると、広島常識が他地区では非常識だったりすることを感じます。広島が優れているところも沢山ありますし、広島が改善すべきところもあるように思います。

私個人は、平成19年の第40回から参加していますので、すでに10回以上参加したことになります。大学や医局の先輩後輩、学生時代剣道部で戦った仲間などとの再会は嬉しいものです。今回は森本理事に参加してもらいましたが、これからもテーマに応じて若い理事の先生方に参加して頂き、知見と人脈を広げ、会務に生かして頂きたいと思っています。来年は、新潟市歯科医師会の主管で開催されます。

支部だより

中区支部

第11回 国泰寺圏域多職種連携会議

日時：9月27日(金)午後7時

場所：オリエンタルホテル広島4階「ボールルーム」

標記の会が開催された。

宮城昌治中区健康長寿課医務監官の司会進行の下、事例紹介・グループワークにはいり、森山薫広島赤十字・原爆病院看護師より、ある男性患者の事例紹介が行われた。内容は「80歳代の男性で、パーキンソン病の現病歴があり、要介護1の認定を受けている。誤嚥性肺炎で入院。入院中の摂食嚥下評価は摂食困難の評価を受け、経鼻栄養を受けるも、退院後は胃瘻造設・経管栄養を頑なに拒否。経口摂取を希望する。」旨の報告だった。

この患者に、それぞれの職種の立場で何ができるのかが、各テーブルで議論されたのであった。

そして講演へと続き、講師に井口郁雄

広島市立広島市民病院耳鼻咽喉科上席主任部長を迎え、「専門家に聞いてみよう！嚥下障害について～嚥下障害をこれ以上すすめないために～」という演題で行われた。講演内容は摂食嚥下能力のグレードに始まり、VF・VE評

価、様々な嚥下障害、外科的治療の紹介など多岐にわたるものであった。

「口腔機能低下症」という病名が保険適用になった昨今、その評価の一つに「嚥下障害」という項目が含まれていることから、非常に有意義な講演内容であったように思えたのである。

この会議には、中区支部より波田佳範支部長、香川次郎副支部長、石本勝三氏、荒谷恭史氏、加藤千季氏、小島将督氏、小松大造氏、辰本将哉氏、橋本佳子氏、平田誠氏、森田薫氏の11名が出務した。



会議の参加者

広島市歯科医師会 中3班研修旅行

日時：9月28日(土)・9月29日(日)

場所：大分中津市

上記旅行に有田一郎氏、今井正人氏、小野由紀子氏、河村久輝氏、小松大造氏、佐野隆志氏、陶山ケイ子氏の7名が参加した。

今回は大分中津市の偉人をめぐる旅行で、14時05分発のぞみで小倉へ。ソニックに乗り換えて杵築まで移動、日出城址を見学し、大分県杵築市山香町にあった馬上金

山の経営で財をなした成清博愛(なりきよ ひろえ)が、日出町に建てた別邸である的山荘(てきざんそう)にて地酒を飲みながら夕食をいただいた。

的山荘は、大分県速見郡日出町にある1915年(大正4年)完成の邸宅(別邸)。国の重要文化財に指定されるとともに、おおいた遺産にも選定されている。現在は日本料

理店として営業しており庭園は国の登録記念物に登録されている。

食後は別府に移動し宿の「別府亀の井ホテル」にチェックイン。その後は温泉街に繰り出す方、宿の大浴場でのんびりされる方と自由行動になった。

翌朝再びソニックで中津まで移動し、まずは村上医家資料館で1640年から現在まで連綿と続く村上医家の所蔵品とその建物を、つぎに中津市木村記念美術館を、そして今回の一番の目的である日本で歯科医師免許取得者

第1号の小幡英之助先生の銅像を拝み、福沢諭吉宅跡で遺品、遺墨、書簡などを、そして大江医家資料館にて「解体新書」等を、また併設の薬草園では江戸時代の主な生薬を鑑賞した。

最終日、最後の締めめの昼食に小倉は田舎庵という所で鰻を肴に乾杯して帰路についた。

大変有意義でためになる旅行であった。今回は学会で欠席されたが、いつも勉強になる旅行を計画していただく門前先生に感謝いたします。



小幡英之助先生の銅像(左) 参加した中区支部会員(右)

佐伯歯科医師会との合同練習

日時：9月28日(土)午後7時

場所：廿日市市「昭北グラウンド」

ラグビーの日本チームが、格上のアイルランドチームを撃破した9月28日(土)、奇しくも本会の中・南区支部の有志連合チームは、県歯会きっての強豪チームである佐伯歯会との合同練習に挑んだ。

練習は午後7時より、廿日市市の「昭北グラウンド」にて行われ、有志連合チームの陣容は中区支部より7名、南区支部より4名であった。

まず、内外野に分かれてシートノックを行いそれから中継プレーなどを行い、試合形式の練習へと移行した。

我ら有志連合チームは佐伯Bチームと対戦し、真正面にきた内野ゴロ、フライ、外野においては正面にきたフライの処理ができれば、試合が引き締まったであろうと思う一方で、それができない場合は、負の連鎖反応が生まれてくることを肌で感じた試合であった。そして、第2試合は

A クラスの常連で毎年優勝争いに絡む佐伯 A チームとの対戦。相手チームの好意により、3アウト交代のところを5アウト交代にしてもらったのであるが、地力の差は歴然で、特にいい当たりの外野への飛球がことごとく捕球されていた点一つを取ってみても、大金星を狙うのは夢また夢なのかと思った。しかし、一方では相手の失策から打線の

つながりが見られたことは、今までにない成長の証だったと思う。

毎年、合同練習に応じてくださる佐伯歯会にはこの場を借りて、お礼を申し上げる次第である。

最後にグラウンド整備を行い、記念撮影を行って合同練習を終了した。



合同練習に参加したメンバー

認知症カフェ「舟入カフェ」

日時：9月28日(土) 午後2時30分

場所：株式会社松広 6階

江波地域包括支援センター主催の標記の会が開催され、石田一輝地域歯科保健部委員が「認知症予防のための口腔ケアについて」と題して認知症の方やそのご家族および専門職の方10名に対して講演を行った。

講演では、認知症と口腔との間には密接な関係性があり、口腔内および口腔機能を健康的に保つことが認知症予防に繋がる可能性があることについて述べた。そのためには適切な口腔ケアだけでなく、かかりつけの歯科医師との連携も重要であることを、セルフケアおよびプロフェッショナルケアの具体的な方法を通じて説明した。また、あいうべ体操や発声練習など様々なお口の体操を参加者の方々と実践することで知識を深めた。

講演終了後、参加者の方々から歯磨剤の使い方や義歯の管理方法など、多岐に渡る質問があり、関心の高さが伺われた。今後も地域からの依頼には継続して対応し、地域に根差した歯科医療に貢献できる活動を行っていきたいと考えている。



講演の様子

介護予防教室「フレッシュ教室」

日時：10月3日(木) 午前10時

場所：ニットショップまつや2階「会議室」

国泰寺地域包括支援センター主催の標記の会が開催され、前田羊一地域歯科保健部委員長が「口腔機能について」と題して講演を行った。当日は台風18号の影響も心配されたが、おおむね被害もなく地域の高齢者の方々11名が参加した。

講演では、口腔機能低下症の説明と適切なセルフケア、プロフェッショナルケアそれぞれの重要性を説明し、デ

モンストレーションとして舌圧計による舌圧測定やペコぱんだを使った舌圧トレーニングを行った。講演終了後、歯ブラシの選び方や義歯の清掃方法など活発な質問が相次ぎ、口腔ケアに対する関心の高さがうかがわれた。今後とも講演等啓発事業を通じて地域の健康維持に貢献する所存である。

中区健康よろず相談

日時：10月6日(日) 午前10時

場所：大手町平和ビル4階「広島市中区地域福祉センター」

標記の会が開催された。なお、この会は昨年台風の影響で中止となっており、2年ぶりの開催であった。中区支部より波田佳範支部長、香川次郎副支部長が出務し、「おくちの健康相談 口腔機能チェック」というテーマで、健診事業を行った。

今回中区支部は、「口腔機能低下症」という病名をご来場された人々に知ってもらうため、口腔乾燥(商品名：口腔水分計ムーカス使用)、舌口唇運動機能低下(商品名：健口くん使用)、低舌圧(商品名：JMS 舌圧測定器使用)の評価に絞り込んだ健診事業を行った。そして、「おくちの健康展」でも用いられる口腔細菌数検査、口臭測定を加えた。

役割分担は波田支部長が口腔乾燥、舌口唇運動機能低下、口臭測定を、香川副支部長が低舌圧、口腔細菌数検査を担当した。

これらの事業は、中区医師会の担当理事をはじめ、中区の担当者から概ね好意的な評価を受けた。特に低舌圧の評価は医師会、行政側の関心を引いたようであった。

今回健診を受けられた人々が、ご自身の口腔機能に関心を持っていただければそれで意義のある健診事業であった。



出務した波田佳範中区支部長と
香川次郎中区副支部長

佐伯歯科医師会との合同練習 2

日時：10月12日(土) 午後7時

場所：廿日市市「昭北グラウンド」

本会の中・南の有志連合チームは佐伯歯会との2回目の合同練習を行った。

当日は台風19号の影響もあり、風がやたらと強く、砂嵐の舞う中での練習であったが、中区支部より8名、南区支部より6名の参加があり、どちらもほぼ中心選手がそろった陣容であった。

まずキャッチボールで身体をほぐした後、第1試合は佐伯Bチームとの練習試合から始まった。今回わが有志連合チームは攻撃面においては、参加者全員打席に立つものの、守備面においては最初の回は、中区は大会当日の時の守備位置につき、足りないポジションに南区から助っ人に入ってもらおうという変則スタイルで臨んだ。次の回は南区が中区同様の事を行い、足りないポジションは中区から出した。試合内容は、両チームとも投手が好投し、ともに守備力も上がってきており、息詰まる接戦であった。しかし、回を重ねていくうちに、相手チームの失策が重なり、まず中・南有志連合チームが先制し、逃げ切りに成功した。第2試合は、佐伯Aチームとの対戦であったが、相手チームの好意により特別ルールとして、5アウトで臨むこととなった。また、第一試合同様のこちらの変則守備を快く認めてもらった。

内容は、相手チームの打撃、走塁練習であったのに対して、相変わらずのこちらは主に守備練習の様相を呈していた。しかし、最終回において佐伯Aチームより守備練習を行いたい旨の申し出があり、こちらはアウト無制限の攻撃練習と相成った。それでもなかなか歯が立たなかったのは言うまでもない。しかし、打球が外野の間を抜けた長打の対応、中継プレーなどは大いに勉強になった。

今年最後の練習を終え、10月20日の大会本番を迎えるにあたり、大会での健闘をともに誓い、最後は記念撮影を行い、合同練習を終了した。

追記

このたびの台風19号で、東海・関東方面において、甚大な被害、被災されました方々にたいしまして、選手一同心より、お見舞い申し上げます。



合同練習に参加したメンバー

令和元年度 第2回 幟町圏域多職種連携会議

日時：10月18日(金) 午後7時

場所：広島YMCA国際文化センター2号館「コンベンションホール」

標記の会が開催された。

藤谷周志広島市基町地域包括支援センター長の司会進行の下、まず始めにこの度の台風19号で犠牲になられた人たちに対して、黙祷が捧げられた。

会議の内容は、講義とグループワークで構成され、講師に宮城昌治厚生部医務監官・(事)健康長寿課課長を迎え、「災害時の対応とそれぞれの職種の役割について」のテーマの下、まず警戒レベルと避難行動に始まり、幟町

圏域における避難場所について話された。そして、意外だったのが台風などによる風水害の時の避難場所と、地震・大火・津波などの避難場所が微妙に異なるという事、そして、避難場所の形態には指定緊急避難場所、浸水時緊急退避施設、指定生活避難場所等に分類され、それぞれの果たす役割を知ったのであった。

それから、グループワークへと移行し、テーマは2部あり、第1部は地震発災直後から発災後1週間までと、第2部は発災後1週間以降であった。そして、その際に自身の職種としての役割、もしくははできることは何かという趣旨で、各班で熱心な議論がなされたのであった。

10月12日に台風19号が東海、関東、東北方面に未曾有の被害をもたらしたこともあり、実際あのような災害が身近に起こった場合のことを想定した熱心な議論が各テーブルで見受けられた。

中区支部第36回 健康ソフトボール大会

日時：10月20日(日) 午前9時

場所：尾道市御調町ソフトボール球場

曇一つない快晴に恵まれた10月20日(日)に、今年も尾道市御調にて恒例のソフトボール大会が行われたのであった。

今回わが中区支部チームは現地に向かうのに際し、バス利用者は中国JRバス(株)会社のご好意により、広島を拠点に活躍するプロサッカークラブ「サンフレッチェ広島」の選手が移動に使うバスをあてがわれた。

途中、小谷のSAや御調ソフトボール球場で注目を浴びたのは言うまでもない。それと同じように、健闘を誓い合ったのだが、結果はというと……………。

前回の広歯月報、だより(本会限定)にも触れていたように、近年広島市他支部の急成長と、今回様々な事情で

最後は、当支部の森田薫氏のご尽力により、(株)広島FM放送より、「ひろしま防災ドリル」という小冊子が参加者全員に配布された。

この会議には中区支部より波田佳範支部長、香川次郎副支部長、石本勝三氏、加藤千季氏、小島将督氏、小松大造氏、辰本将哉氏、森田薫氏の8名が出務した。



参加した中区支部会員と
宮城昌治厚生部医務監・(事)健康長寿課課長

十分な練習ができなかったこと、そして、大会当日にほかの事業が重複したことで、チームの士気の盛り上がりがかつ今一つというところであった。抽選の結果はというと、我々が一番恐れていたものとなった。

何と初戦はともに汗を流し、一緒に練習してきた広島南であった。過去に何回も対戦してきたここ数年は辛うじて、こちらの勝利であったのではあるが、近年着実に力をつけてきて、油断のできない相手チームということを実感させられているからである。試合はというと、広島中が先制し、追加点を重ねていくも、最後に相手チームが底力を発揮し、こちらの自滅でサヨナラ負けを喫したのであった。

第2試合は、これまた広島市対決となりここ数年安定した成績を残している広島西との対戦となった。まずこちらが先制するも、その裏で失策が重なり、相手に逆転を許す展開となり、またこちらが逆転するも、向こうに勝ち越されるという展開であった。結果は最後まで押し切ることができず、1点差での敗戦となった。そういうことで、我々広島中は平成20年以降のCクラス降格(この時の対戦チームは広島東)と相成ったわけである。

波田佳範支部長から、「相手チームに負けたのではなく、自分たちの弱い心に負けたのだ。これをばねにして、来期はCクラスで優勝して、またBクラスに帰って来よう。」という檄が飛ばされ、一同来期の頑張りを誓ったの

であったのは言うまでもない。今回の件は、中区支部ソフトボール選手、役員一同、中国故事成語に出てくる「会稽の恥」に例え、それぞれが「臥薪嘗胆」の気持ちで、来季へ向けて、臨んでいくことになるであろう。



大会に参加した中区支部会員

東区支部

東区老人クラブ連合会 平成31年度 「芸能大会」健康相談

日時：9月29日(日)午前10時30分

場所：東区総合福祉センター4階「ボランティア研修室」

東区老人クラブ連合会主催により、標記の会が開催された。4階のボランティア研修室にて、広島市東区医師会、広島市薬剤師会、本会東区支部がそれぞれ健康相談コーナーを設置し、医科・歯科・薬科相談のほか、血圧測定、骨密度測定、もの忘れ検査、お肌の水分測定などを行った。本会東区支部は、歯科相談とともに、口臭測定や口腔内細菌検査を行った。とくに口腔乾燥や口臭が日常的に気になる方には舌の筋肉を鍛える体操、飲み込み力やお口の機能(唾液腺マッサージ)をアップする体操のパンフレットを用いて説明を行い、オーラルフレイル予防の普及啓発を行った。歯科コーナーには38名の来場があり、盛会のうち

に終了となった。この相談会には東区支部より野村登志夫支部長、野坂覚氏、高島宏氏が出務した。



東区支部から参加した

左から野坂覚氏、高島宏氏、野村登志夫支部長

令和元年度 第2回 フェイスネット「TRITRUS」講習会～中級編

日時：9月30日(月)午後7時

場所：広島市医師会館3階「視聴覚室」

広島市東区地域対策協議会(東区地对協)および広島市東区医師会共催の標記の会が開催された。満田一博東区地域対策協議会理事の司会で始まり、金谷雄生広島市東区医師会副会長の挨拶があった。医療・看護・介護に関わる専門職が患者情報を共有できるこのツールは、現在全国で既に約10万人が利用している。今回の講習会には、医師、歯科医師(本会東区支部から野村登志夫氏が参加)、看護師、訪問介護福祉士など総勢約24人が参加した。今月はじめに行われた第1回の入門編講習会に引き続く形で、まずこのTRITRUSシステムの特徴と利用メリットが池平良介カナミックサポートより紹介された。そして、森下学カナミックネットワーク主任よりシステムの基本説明や機能の紹介があり、ハンズオンとしてPCを利用した参加者同士でのメッセージの送受信の実践練

習を行った。その後、事例研究として金谷雄生広島市東区医師会副会長より実際にこのシステムを利用した実例が紹介された。これまでに100名以上の患者情報を多職種と共有し、大変有用であったことから、今後このシステム利用者を増やしたい旨が述べられた。質疑応答の後、最後に金谷雄生東区地对協副会長が閉会の辞を述べ、閉会した。



講習会の様子

第9回 医療・介護・地域多職種連携会議「ほおずきネット」

日時：10月11日(金)午後6時30分

場所：ひろしんビックウェーブ「役員会議室」

広島市東区地域保健対策協議会、広島市東区医師会、広島市牛田・早稲田地域包括支援センターの主催で標記の会が開催された。対象者は医師、歯科医師、薬剤師、介護支援専門員、地域包括支援センター、健康長寿課、民生委員であり、計58名が参加した。黒瀬将司牛田地域包括支援センター所長の司会で始まり、沖政盛治JR広島病院緩和ケア内科部長が「緩和ケアってどんなもの」という題目で講演を行った。緩和ケアといえば、これまでとくにがん終末期の療養場所で死を導くイメージであるが、がんと診断された時からがん治療と同時に行われ

る必要があり、生を探求するものであるとの説明があった。その後「これまでの緩和ケアのイメージとこれからの課題」と題したグループワークが行われ、これまでの治療からどのようにして緩和ケア病棟に繋いでいくのか、また独居の方の緩和ケア病棟へのサポートなど様々な意見交換を行った。沖政部長の総評の後、質疑応答があり、最後に黒瀬センター所長の挨拶で閉会した。この会議には本会東区支部より野村登志夫支部長、加藤正昭氏、坂井理奈子氏、野坂寛氏が参加した。



会議の様子

東区支部第 36 回 健康ソフトボール大会

日時：10月20日(日)午前9時

場所：尾道市御調町ソフトボール球場

第36回健康ソフトボール大会が開催された。前日までの雨も上がり、快晴で絶好の大会日和となった。今年の実戦相手は初戦が安芸Bチーム、第2戦は役員チームだった。

昨年残念ながらCクラスに転落し、何とか今年はとの思いを胸に7月からの練習には例年以上の参加がみられた。試合当日は過去最高の16名が参加し、並々ならぬ意気込みで試合に臨んだ。

初戦の広島安芸Bチームとの対戦では初回から打線がつながり2点を獲得した。その後、逆転を許すも岩井敏之氏や橋田崇史氏を中止とした固い守りで再三のピンチを切り抜けた。すると4回に再度逆転し結果9対7で勝利した。

第2戦の役員チームとの対戦ではピッチャーの山本道直氏の好投が光り、初回にあげた1点を守り切り、引き

締まった投手戦のゲーム展開となった。しかし、3回裏にまさかの逆転3ランホームランを打たれ、逆転を許した。その後1点を追加され、攻撃もあと1本が出ず、1対4で惜しくも敗戦となった。

2試合を1勝1敗の結果で終えたが、Cクラス準優勝となり、念願のBクラス返り咲きとなった。来年も全員が参加しさらに健闘する事を、皆で誓い合った。



大会に参加した東区支部会員

東区支部ソフトボールチーム慰労会

日時：10月20日(日)午後7時

場所：鉄板焼き「暫」広島駅前店

昼間の暑さから一転して、肌寒くなり始めた日曜の夕刻から南区松原町の鉄板焼き「暫」にて広島市東区支部チームのソフトボール大会の慰労会が行われ、14人が参

加した。初めに熊谷宏会長より挨拶があり、本日の大会の参加に対する謝辞が述べられた。試合は1勝1敗で見事Cグループでの準優勝となり、例年以上の盛り上がり

であった。来年のさらなる飛躍を皆で誓い合った。最後に野村登志夫支部長が閉会の挨拶をして、閉会した。

在宅医療研修会

日時：10月25日(金)午後7時

場所：東区総合福祉センター

標記の会が開催された。主催は広島市東区地域保健対策協議会と広島市東区医師会で対象者は医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員であり、計90名が参加。満田一博東区地対協理事の司会のもと、佐藤修二東区地対協会長の挨拶で始まった。井川恵訪問看護ステーション「ふれあい」所長を座長とし、3つの異なる職種からみた摂食嚥下障害の症例報告がなされた。はじめに病院の立場から、園田さおり JR 広島病院摂食・嚥下障害看護認定看護師より「摂食嚥下機能に障害を持つ患者へのかかわり」と題し、摂食嚥下の検査や評価、訓練法が紹介された。次に在宅の立場から安原明美広島県看護協会訪問看護ステーション「ひろしま」摂食・嚥下障害看護認定看護師より「摂食嚥下機能に障害を持つ患者とのかかわり」の演目で、在宅で脳血管障害や認知症患者で摂食嚥下機能障害を持つ5つの事例が示された。最後



参加した東区支部会員

に在宅のリハビリ専門職の立場から、横山夏奈おかもとリハビリ訪問看護ステーション言語聴覚士より「摂食嚥下機能に障害を持つ患者へのかかわり」のタイトルで若年嚥下障害の事例から経口摂取を継続する意義について示された。質疑応答の後、最後に金谷雄生東区地対協副会長の挨拶で閉会した尚、この会議には本会東区支部より野村登志夫支部長、加藤正昭氏、木村太言氏、坂井理奈子氏、高島宏氏、竹本美保氏、寺迫環氏が参加した。



研修会の様子

南区支部

宇品・似島地域介護予防教室

日時：9月19日(木)午前10時30分

場所：東宇品神田南会館

宇品・似島地域包括支援センターの主催で標記の会が開催され、平井由美地域歯科保健部委員が「しっかり食

べて元気で長生き」と題して70～80代の地域住民14名に対して講演を行った。

講演では健康寿命を平均寿命に近づけ、要介護状態を短くするためには口腔機能の維持向上が重要であり、食べるためには噛むことだけではなく、飲み込む力が必要であること、飲み込む力と舌圧の関係などを動画をまじえて解説した。

また、近年高齢者で問題となっている誤嚥性肺炎を防ぐには、飲み込む力を維持すること、そのためには舌のトレーニングが必要であること、普段から口腔内を清潔に保つことが重要であることなどを説明した。

続いて口腔機能の維持・向上のためにお口の体操や口腔ケアの方法、舌のトレーニングに使うペコぱんだの使

用法を実演とともに解説し、通所口腔ケアサービスと在宅訪問歯科健診・診療事業についての紹介も行った。

その後、参加者全員で「かみかみ百歳体操」を行い、参加者からは「誤嚥性肺炎予防のために嚥下機能の維持が必要であることがよくわかった」などの感想が寄せられ、今後の活動に活かされるものと期待される。



教室の様子

県立広島病院地域連携歯科懇談会

日時：9月27日(金)午後7時

場所：オリエンタルホテル広島

平川勝弘県立広島病院院長、桐山健県立広島病院歯科・口腔外科主任部長の開会の挨拶の後、熊谷宏本会会長の乾杯の挨拶が行われた。

この会では県立広島病院と地域歯科医院連携強化のため、歯科・口腔外科の桐山健主任部長から県立広島病院歯科・口腔外科の治療内容、及び現状報告があった。また、延原浩部長からは「周術期口腔機能管理による術後合併症予防効果」と題して講演があった。地域歯科医師からは藤田友昭本会理事が代表し「歯科医師会からの提言」という題で医療情報共有に関する内容や地域歯科医院からの要望が提案された。当日出席された北本幹也患者総合支援センター長(兼)消化器センター消化器内科部長や富永篤脳心臓血管センター脳神経外科・脳血管内治

療科主任部長、梶原充泌尿器科主任部長から地域歯科医院が共有したい医療情報等の質問が出た。

歯科・口腔外科だけでなくその他の科からの医師の参加もあり、有意義な意見交換会が行われた。今後は交流会だけでなく、合同の勉強会を頻繁に行うことで、県立広島病院と地域歯科医院がこれまでより強い連携を作っていきたいという言葉で交流会の幕が閉じられた。



交流会の様子

令和元年度 宇品・似島圏域在宅医療・介護関係者研修会・連絡会

日時：10月3日(木)午後7時

場所：南区役所別館4階「大会議室」

上綱雅一かみつな内科医院院長と、正田奈津子宇品・似島地域包括支援センター長の両名による司会進行のもと、講演が行われた。

「私のこころづもり」をキーワードに、アドバンスケアプランニングについてのミニレクチャーやグループ討議がなされた。

アドバンスケアプランニングとは、

・高齢や病気、事故などの要因で意思伝達が困難になった際の事を考え、

・自身が今後受ける治療や療養、生活スタイルについて計画し、

・家族や医療従事者らと考えや希望を共有すること。

患者の意向を尊重すること、自身のゴールを決められること、ただ療養するのではなく、「自分にとってベストな終末期をどう過ごすか」を決められることが、今後のスタンダードとなるだろう。

歯科医師や衛生士もいずれは、なんらかの形で患者の「ベストな終末期」を支える一員として活躍することになり、今回の講演は、その足がかりとなるだろう。



研修会・連絡会の様子

南区支部第36回 健康ソフトボール大会

日時：10月20日(日)午前9時

場所：尾道市御調町ソフトボール球場

甲野峰基県歯会会長の開会の挨拶の後、熊谷宏本会会長の選手宣誓が行われ大会が開始された。

大会には古谷知之支部長をはじめ橋本直典副支部長、伊達弘恵会計、河原利哉理事が応援にて参戦してくれた。選手は昨年とほぼ同じメンバーであったが、今年は広島大学病院口腔インプラント診療科の久保隆靖診療准教授

という援軍があり、皆意気揚々と大会に臨んだ。試合の方は抽選の結果1回戦で中区支部チームと対戦になった。その試合は45分の時間制限で4回までとなり、4回裏に逆転サヨナラで勝利し、2回戦進出とともにBクラス残留を決まった。2回戦は安芸歯科医師会チームとの対戦になった。結果は2-19の惨敗だった。来年は更に結

束力を高め、もう一つ上のクラスを狙うためにもう一つ
勝とうとみんなで誓って大会の一日を終えた。



大会に参加した南区支部会

西区支部

第10回 己斐・己斐上圏域 医療と介護の連携会議

日時：9月26日(木)午後6時30分

場所：己斐公民館2階「研修室」

標記の会が広島市己斐・己斐上地域包括支援センターにより開催された。

河原克行センター長の開会挨拶があり、越智由美広島市己斐・己斐上地域包括支援センター介護支援専門員から広島市のパンフレットを使って総合事業の説明があった。3年間の取り組みについてポイントをわかりやすく解説された。続いて今田直樹荒木脳神経外科作業療法士より、新しい介護予防「地域づくりによる介護予防」通いの場の効果～事例を通して自立支援を考える～の演題で講義が行われた。以下の各セッション内容で講義は進められた。何を目指しているのか。総合事業での新しい介護予防。通いの場の効果と広がり。事例紹介。ケースについてグループワーク。ディスカッション後、当該事例のまとめがなされた。講師は、広島県地域づくりによる介護予防推進新事

業アドバイザーをされており、「いきいき百歳体操」の全国的な盛り上がりについて紹介された。石田哲石田内科医師と濱井千年世西区健康長寿科課長からこの2-3年でもよくなった旨の総評があり、河原克行センター長の挨拶後、閉会された。

この会議には本会西区支部から角田達彦支部長、松村英朗氏が出席した。



出席した松村英朗氏と角田達彦支部長

10月西区支部例会

日時：10月10日(木)午後7時30分

場所：西区己斐本町「木松旅館」

夏が終わりを告げた夕刻、標記の会が開催された。参加者を前にして角田達彦支部長が司会・議長を務め、①庚午圏域 医療と介護の連携会議、②広島市医療対策協議会、③五福の会、④観音地域包括「観音認知症応援団」、⑤ソフトボール合同練習、⑥令和元年度災害対策医療研修会、⑦己斐己斐上圏域 医療と介護の連携会議、⑧県立広島病院 地域連携歯科懇談会について報告があった後、協議事項として①次回支部会忘年会について、②ソフトボール大

会について、③西区民まつりについて、④広島市会だよりについて、が上程された。

引き続き、天間裕文県歯会医療管理部業務執行理事(西区支部会員)を講師に迎え「トラブルを起こさないために」と題して学術講演会が行われた。身近なトラブルや診療中の安全管理など役に立つ内容に参加者一同、時間の過ぎるのも忘れ聞き入っていた。最後に角田支部長の閉会の辞で終了した。



支部例会の様子

西区支部第36回 健康ソフトボール大会

日時：10月20日(日)午前9時

場所：尾道市御調町ソフトボール球場

西区支部選手は県歯会主催「第35回健康ソフトボール大会」に出場した。

試合経過

第一試合 対 安芸Aチーム

強豪を相手に苦戦を強いられる。藤田友昭投手は、本来の実力が発揮できず、打線も沈黙したまま試合は終了した。結果は、1：13(3回コールド負け)であった。

第二試合 対 広島中

こちらも強豪の広島中チームを相手に、藤田投手の緩急をつけたピッチングと西区支部精鋭による強力打線の爆発、さらに堅い守りで進んだ試合は、一点を争う好ゲームとなった。結果、からくも西チームが1点差で逃げ切った(6：5)。来年も引き続きBクラス残留となり、反省会は大いに盛り上がり、選手一同、新たな決意を胸に帰途に就いた。



参加した西区支部会員と熊谷宏会長(左)大会の様子(右)

各部からの報告

地域歯科保健部

節目年齢歯科健康診査料及び妊婦歯科健康診査料のお知らせ

先月号で、10月からの妊婦歯科健診料の変更についてお知らせしましたが、新たに節目年齢歯科健診料について変更があった地区がありましたので、整理してお知らせいたします。

10月より	妊婦歯科健診単価	節目年齢歯科健診（歯周疾患健診）	
		一般健診単価	受診者負担金
広島市	4,808円→5,045円	4,431円(変更なし)	500円
府中町	4,719円→4,807円	3,047円→3,130円	1,300円
廿日市市	4,389円→4,961円	3,400円(変更なし)	1,000円
海田町	4,473円(変更なし)	4,431円(変更なし)	500円
坂町	4,473円(変更なし)	3,027円(変更なし)	1,200円

なお、各地区とも節目年齢歯科健診の受診者負担額に変更はありません。

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の **QR** コードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

今月の知っておきたいこと

▼「か強診」「歯援診2に関する届出」をお忘れなく

日歯メンバーズルーム(2019年10月16日)

<https://www.jda.or.jp/member/d002912>

「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所(か強診)」、「在宅療養支援歯科診療所2(歯援診2)」を令和2年4月1日以降も算定するためには、要件を満たした上で令和2年3月31日までに地方厚生(支)局各事務所への届出が必要です。特に追加研修をお早めに受講いただき、届出をしていただくようお願いいたします。

参考: [か強診と歯援診2の施設基準について](https://www.jda.or.jp/member/upd/2017f/shisetsukijyun.pdf)

<https://www.jda.or.jp/member/upd/2017f/shisetsukijyun.pdf>



▼政府、社会保障 1300 億円圧縮／薬価引き下げや介護負担増

共同通信(2019年10月12日)

<https://this.kiji.is/555721962410050657>

政府は2020年度予算で高齢化に伴う社会保障費の伸び(自然増)を例年並みに1300億円程度圧縮する検討に入った。自然増は5



千数百億円になる見込みで、薬の公定価格(薬価)の引き下げなどにより4千億円台に抑える。複数の政府関係者が12日、明らかにした。厚生労働、財務両省が年末の予算編成に向け調整する。社会保障制度の支え手である20~64歳の現役世代の人口は減少し、高齢化の進行で医療や介護、年金などの社会保障費は膨らみ続けている。

▼キャッシュレス決済など認識共有

日医・日歯役員意見交換会

日歯プレスリリース(2019年10月14日)

http://www.jda.or.jp/jda/release/detail_97.html

日本歯科医師会は10月1日(火)、日本医師会と4回目となる役員意見交換会を日本医師会館で開催し、「キャッシュレス決済」「オンライン資格確認、マイナンバーカードへの対応」「保健事業と介護予防におけるオーラルフレイルの取り組み」について課題と認識を共有しました。



ニュースピックアップ

▼歯科衛生士に医療行為させた疑い 院長ら逮捕

NHK NEWS WEB 2019年10月3日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191003/k10012110861000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_008

歯科医師の免許がない歯科衛生士に医療行為をさせたとして、名古屋市の医院の院長らが逮捕されました。警察は、海外への渡航を繰り返していた院長が、不在の間、医療行為をさせていたとみて調べていて、院長らは容疑を一部否認しているということです。

◎逮捕されたのは78歳の院長と、50歳の歯科衛生士の2人です。歯科医師免許の無い歯科衛生士に歯を削るなどの医療行為をさせたようです。人手不足等の理由で歯科衛生士や歯科助手に仕事を任せるとも思いますが、どこまでやらせるかということに気を付ける必要があります。

▼口の臭い 気になりませんか？



NHK NEWS WEB 2019年9月20日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20190920/k10012091911000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_020

日本人の実に7割がかかっているとも言われ、歯を失う原因としては虫歯より多いのが歯周病。歯の感染症というだけでなく、糖尿病や心疾患の原因になるともいわれ、ことし1月にはアルツハイマー病との関連を指摘する論文も。歯周病の予兆にできるだけ早く気付きたいと思う人々の関心を背景に今、ビジネスが動き出しています。

◎とあるベンチャー企業で、口臭を検知するセンサーを組み込んだ歯ブラシが開発されているようです。口臭を数値化し、数値が高いほど歯周病のリスクが高くなるということです。歯ブラシ1本5000円から8000円での販売を予定しているそうです。口臭は気にしている人がかなり多いですが、他人が指摘するのは勇気がいるところがあります。歯科医院でも気軽に測定できるといいですね。



▼ロタワクチン 定期接種化へ…20年度にも



yomiDr 2019年9月17日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190917-OYTET50004/?catname=news-kaisetsu_news

厚生労働省は13日、乳幼児がかかりやすいロタウイルス胃腸炎の予防ワクチンを早ければ2020年度中にも、予防接種法に基づき公費で賄う定期接種とすることを決めた。

◎感染発症すると重症化もあり得るロタウイルスのような感染症はワクチン接種が必須となるでしょう。

▼乱用の恐れある薬、使用目的聞かず…薬局の半数



yomiDr 2019年9月24日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20190924-OYTET50017/?catname=news-kaisetsu_news

乱用の恐れがある薬を複数購入しようとした客に対し、使用目的の確認などをせずに販売していた薬局やドラッグストアが48.0%に上ることが、厚生労働省による2018年度の調査でわかった。

◎どう見ても怪しいと言えども、そこは「お客様」。理由を根拠なく薬影り聞けない薬局側の事情もあるのではないのでしょうか。

▼電子たばこ使用し疾患と診断の肺組織損傷の調査結果



NHK NEWS WEB 2019年10月4日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20191004/k10012112071000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_006

アメリカやインドで電子たばこの販売を禁止する動きが出る中、電子たばこに関連がある呼吸器系の疾患と診断された患者の肺は、有毒な化学物質を吸い込んだときに似た状態になっているという調査結果がアメリカの医学誌に報告されました。

◎アメリカでは、電子たばこが原因とみられる呼吸器疾患の患者数が増えているようです。そのためアメリカの一部の州では香り付き電子たばこの販売を中止したようです。従来のたばこよりも安全ということで電子たばこが広まってきたと思いますが、その電子たばこも健康によくないようです。喫煙には十分気を付ける必要があります。

▼尿1滴でがん検査、「線虫」利用した方法が来年実用化



Yahoo NEWS 2019年10月1日

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191001-12426968-kbcv-140>

日本人の死因1位のがん。その判定に「線虫」という小さな生物を利用した検査が、まもなく実用化されます。がん検診のハードルが下がると期待が高まっています。検査に使うのは尿1滴だけ。九州大学の元助教が率いる企業が開発した検査方法は、「線虫」ががん患者の尿に集まる性質を利用したものです。

◎この線虫を使った検査方法は、ステージ0や1といった早い段階でも見つけることができ、検知率が90%と高い精度であることや、検査費用も1万円弱と安価であるといったメリッ

トがあるようです。尿1滴で検査ができるということは非常に手軽であると思います。早期の実用化に期待しています。

▼脳の活動度が強いと睡眠がより必要に



メディカルトリビューン 2019年10月10日

<https://kenko100.jp/articles/191010004947/#gsc.tab=0>

疲労を十分に回復するのに必要な睡眠時間は、その日どれだけ長く起きていたかではなく、起きている間の脳の活動強度によって決まる可能性があるという。

◎2つの体内システムが睡眠を調節しているそうです。そのシステムとは？そして脳の活動と睡眠の関係やいかに。

▼使い方学ぼう OTC医薬品普及イベント 東京・日本橋などで開催



産経ニュース 2019年10月4日

<https://www.sankei.com/life/news/191004/lif191004042-n1.html>

医師の処方箋なしで購入できる一般用医薬品(OTC医薬品)の普及啓発イベント「よく知って、正しく使おうOTC医薬品」が4日、「福德の森」(東京都中央区日本橋室町)など中央区内の3会場で始まった。5日まで。

◎公的医療保険で、外来の処方薬を全部カバーしている国はあまりないそうです。OTC医薬品が適切に使われ、さらに普及されることは、医療費の削減につながります。超高齢化社会に向かって突き進んでいる日本にとって、考えていかなければいけない課題かと思います。

▼インフル患者、昨年同時期の4倍超 厚労省、ワクチン供給前倒し依頼



産経ニュース 2019年10月6日

<https://www.sankei.com/life/news/191004/lif191004045-n1.html>

厚生労働省は4日、全国約5千の定点医療機関から9月29日までの1週間に報告されたインフルエンザの患者数が4543人だったと発表した。1医療機関当たり0.92人で、前の週の1.16人を下回り、流行入りの目安となる1人を切った。

◎インフルエンザは例年12月上旬に流行入りすることが多いですが、今シーズンは9月に沖縄を筆頭に九州で患者数が急増しました。厚労省によると、今シーズンのワクチン供給量は、昨年を上回る約2933万本を見込んでいるとのこと。厚労省では、医療機関へのワクチンの早期納入を促し、ワクチン不足を防ごうとしています。早めの接種が安心かと思えます。

▼エボラ病原体、国立感染症研に搬入 東京五輪控え、検査法確立へ



産経ニュース 2019年9月27日

<https://www.sankei.com/life/news/190927/lif190927011-n1.html>

国立感染症研究所は27日、エボラ出血熱など致死率の高い1類感染症の病原体を海外から輸入し、同研究所村山庁舎(東京都武蔵村山市)に搬入したことを明らかにした。2020年東京五輪・パラリンピックを控え、感染が疑われる人が出た場合の迅速な診断や回復の判断に役立つ。

◎厚労省が今年7月、エボラ出血熱など 5 種類の感染症受け入れ条件が整ったことを発表しました。搬入先の村山庁舎には、高性能フィルターを備えるなど「BSL-4施設」があり、高度な安全性が確保されているとのこと。東京五輪開催時には、海外から旅行者により、日本ではあまりみられない細菌やウイルスの感染のリスクが上がる可能性があります。更なる対策が必要ですね。

▼菜食の意外な落とし穴!?

メディカルトリビューン 2019年10月07日
<https://kenko100.jp/articles/191007004932/#gsc.tab=0>

健康的なイメージで人気のある菜食主義。だが、肉食や魚食に比べて、脳卒中リスクが高いことなどが、英・Oxford University の Tammy YN. Tong 氏らによる大規模かつ長期的な研究で明らかになった (BMJ 2019; 366: 14897)。

◎「ベジタリアン」という言葉があるように、菜食主義＝健康というイメージがあります。でも菜食のみだと、どのくらい病気になるリスクが高まるのでしょうか。



▼豚コレラでイノシシ用ワクチン散布 滋賀県が近畿初

産経ニュース 2019年10月1日

<https://www.sankei.com/life/news/191001/lif191001012-n1.html>



滋賀県は30日、同県多賀町で豚コレラに感染した野生イノシシが確認されたことを受け、山林を中心にイノシシ向けの餌に発症を抑えるワクチンを混ぜた「経口ワクチン」の散布を始めたと発表した。ウイルスの媒介となる野生イノシシからの感染を防ぐため、県によると、近畿地方での豚コレラワクチンの散布は初めて。

◎豚コレラの感染が多数報告されています。豚コレラは、豚やいのししの病気であって人に感染することはない、仮に豚コレラにかかった豚の肉や内臓を食べても人体に影響はありませんが、養豚場などでの感染が広がると、生産者団体に、重大な被害となります。これ以上感染が広がらないよう、対策が必要となります。

FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオスタート

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

11月6日放送分

「虫歯の予防法」

広島市歯科医師会 有馬隆理事

「虫歯は減った」と言われますが、高校3年生の約半数に「虫歯」があり、30代後半でほぼ100%近くに達します。今週は多くの人に「もっと早く教えてほしかった」と思ってもらえる虫歯予防の方法を、広島市歯科医師会の歯科医師、有馬隆さんが紹介します。

11月20日放送分

「早寝・早起き・朝ご飯・食後の歯磨き」

広島市歯科医師会 森本慎樹理事

最近の子供たちを見ると、「よく体を動かし、よく食べ、よく寝る」という当たり前の生活習慣が乱れてしまっている気がします。こうした基本的な生活習慣の乱れが、学習意欲や体力、気力の低下の原因の一つとして考えられています。今回は広島市歯科医師会の森本慎樹歯科医師が正しい子供の生活習慣と歯みがきの関係について話します。

広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I LOVE 広島弁じゃけえ。

～第1回～ アギって、どこよ？ほうじゃろ、そこよの！

広島市内で歯科医院を開業する二葉里志さんのクリニックに初診来院した80代男性のAさん、待合室で問診票を手に老眼鏡を上げ下げしながらも、懸命に記載しています。二葉里志さんは県外出身の34歳、クリニックを開業して半年、患者も徐々に増えて地域の住民にも親切な歯医者として認められてきました。広島弁のスタッフに囲まれ、日常会話程度の広島弁は使いこなします。

スタッフからAさんの問診票を手渡されました。主訴の欄には「よそで入れ歯を作ったが、あぎが痛い」とあります。二葉さんは「アギ？」と思い、20代のスタッフに問診票を見せながら「アギってなんじゃろうか？」と聞くと、「ああ、じーさんじゃけえ、書き間違えたんよ、アゴのことじゃと思います。きつと」。一般に上下を付けずに「アゴ」というと元ハンダース、アゴ&キンゾーの「あご勇」の例を見るように、下顎のことを指すと思いますよね。

Aさんをチェアに案内して、二葉さんは「他院で入れ歯を作ったのはいつですか？」。Aさん「ほうじゃのう、ふた月ほどになるかのう」。「それでは下の入れ歯を外してみてください」。みるみるAさんは怪訝な表情になります。「下に入れ歯は入れとらん！」。二葉さんの額には汗がにじみます。触診して痛む部位を特定せねば…二葉さんはチェアを倒します。下顎をあちこち触ってみながら「痛むのはココですか？」と恐る恐る尋ねると、Aさんは腕組みをしたまま目をつぶって首を横に振るだけです。(ヤバイ…怒らせた…)意を決して「痛むところはどこですか？」と尋ねると、Aさんは黙って口蓋を指さします。上顎の総義歯を慎重に取り外すと、口蓋の正中に発赤を伴うDulがありました…。

※県内の高齢者はかなりの確率で口蓋のことを「アギ」と表現します。精選版日本国語大辞典によると、「あぎ」腭・顎

② 上あご。あぎと。一般に「あご」の古名。⇨頤(おとがい)。

② 魚のえら。あぎと。

[語誌]古くは口蓋部分を指した。中世では謡曲の伝書類に発声法を示すために、このアギが用いられている。

とあります。広島弁のみならず古い言葉だったんですね。アギト→アギ→アゴと発音は変化しており、意味合いも微妙に変化して現在に至るようです。二葉さんが間違えたのも無理はありません。ちなみに下顎の古い言い方は頤(おとがい)というみたいです。我々はオトガイというとオトガイ孔の付近、「下顎下縁前端正中部の高まり」のイメージを持ちますが、古くは下顎全体をさしていたようです。我々の職業領域である、口腔周りの名称は勉強しておいて損はなさそうです。

広島弁で表現されて日常臨床でびっくりしたこと困ったことあれば広報部まで教えてください。分かる範囲で調査してみます。尚、この物語はフィクションです。

10月定例理事会報告

「部外報告」

- 9月26日 新規個別指導立会
" 国保組合理事会
9月27日 県立広島病院 地域連携歯科懇談会
9月28日 会員面談
9月29日 集団的個別指導
10月 2日 令和元年度第1回広島圏域地域医療構
想調整会議
10月 4日 社会保険診療報酬支払基金再審査
10月 5日 十三大市歯科医師会役員連絡協議会
(横浜)
10月17日 新規個別指導立会
" 国保組合理事会
10月18-24日 社会保険診療報酬支払基金審査
(合議24日)
10月18日 国保連合会歯科再審査部会
10月19-23日 国保連合会歯科審査部会
" 会員面談
10月20日 (県)健康ソフトボール大会

(連盟関係)

- 10月 2日 中本隆志君の広島県議会議長就任を祝
う会
10月16日 「ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会
2019年10月度」

「総務関係」

- 10月 5日 「ひろしまキッズシティ2019」出店
10月16日 第4回支部長・副支部長会
10月19日 「HOMEぼるフェス2019」イベント出展
10月20日 「HOMEぼるフェス2019」イベント出展
10月21日 三役会
10月23日 定例理事会

(慶弔関係)

(入会退会関係)

- 10月 1日 中区支部新規入会者説明会

(県歯理事会関係)

- 10月 3日 県歯理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 9月26日 会員面談
10月 1日 休日診療レセプト点検
" 中区支部新規入会者説明会
10月 5日 十三大市歯科医師会役員連絡協議会
(横浜)
10月10日 (県)保険部常任委員会
10月11日 総務部委員会
10月12日 会員面談
10月17日 会員面談
10月18日 広島大学臨床研修医セミナー協議
10月19日 岡山大学歯学部同窓会広島支部保険講
習会

- 10月20日 (県)健康ソフトボール大会

(2) 学術部 (花岡理事)

- 10月 3日 HOMEぼるフェス出展社説明会
10月11日 定例委員会
10月18日 HOMEぼるフェス前日荷物搬入
10月19-20日 「HOMEぼるフェス2019」出展

(3) 厚生部 (谷理事)

- 10月15日 定例委員会
10月20日 第36回健康ソフトボール大会

(4) 地域歯科保健部

- 9月27日 県立広島病院 地域連携歯科懇談会
10月 5日 「ひろしまキッズシティ2019」出店
10月10日 (県)地域保健部、学校保健部、介護・
福祉医療部常任委員会
10月18日 定例委員会
10月20日 (県)健康ソフトボール大会

<学校保健> (有馬理事)

- 9月26日 (県)第2回保育施設での歯科疾患及び
歯科保健活動の実態調査会議
10月 2日 (県)日本学校歯科医会第98回臨時総会
10月 3日 (南区地対協)令和元年度 宇品・似島包
括圏域 在宅医療・介護関係者研修会・
連絡会
10月11日 (県歯衛連)第1回一時保護施設入所児
支援歯科保健活動会議
10月17日 (南区地対協)広島市南区地対協防災医
療・介護連携委員会
10月21日 (県歯衛連)第1回学校歯科保健推進体制・
整備検討会議

<地域保健> (若林理事)

- 9月26日 広島市障害者差別解消支援地域協議会
(令和元年度第3回)
10月 8日 (県)三菱電機企業健診
10月12日 (県)広島県禁煙支援ネットワーク
10月21日 中区地域ケアマネジメント会議

<地域連携> (藤田理事)

- 10月 8日 (県)三菱電機企業健診
10月10日 西区ケアマネジメント会議
10月16日 西区同行研修
10月21日 広島市介護予防ケアマネジメント研修
会講師

(5) 広報部 (水内理事)

- 10月 2日 校正委員会
10月15日 情報調査委員会
10月20日 ソフトボール大会
10月24日 FMちゅーピー収録

FMちゅーピー (新聞掲載)

11月 6日 「虫歯の予防法」

広島市歯科医師会理事
有馬 隆氏

11月20日 「早寝・早起き・朝ご飯・食後の歯磨き」

広島市歯科医師会理事
森本 慎樹氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,716 (累計 136,466)
ページビュー 8,776 (累計 451,511)
会員サイト 訪問者 162 (累計 28,222)
ページビュー 617 (累計 213,539)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 37件 (9/16~10/20)

(7) 特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

(9) 歯科医療安全相談

9月26日 相談 矯正治療方法について
(30歳代女性)

10月 3日 相談 一時保護児童の診療情報提供に
ついて (南区会員)

10月21日 苦情 歯科医院の対応と他院への転院
について (80歳代女性)

「協議事項」

- (1) 入会について (3名)
中区支部の本川正英氏と光山素夫氏の入会に
ついて承認、中区支部1名継続審議中。
- (2) 学術講演会における謝礼及び参加資格について
(謝礼)承認、(参加資格)継続審議
- (3) クリスマスパーティーについて
継続審議
- (4) 学術講演会について
継続審議
- (5) 広島市歯科医師等認知症対応力向上研修について
内容について協議
- (6) 11月24日カープ健診出務について
出務費について承認、日程未確定
- (7) 訪問歯科診療の問い合わせへの対応について
対応確認
- (8) 年賀状送付先について
継続審議
- (9) いい歯の日に因んだ、広島ホームテレビ番組企画
へのテーマ提示について
決定・連絡
- (10) 本会会員への日学歯外傷対応パネル配布について
承認
- (11) その他
企業健診 (産業職域歯科健診) について
継続審議

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hiroshima@dentalpark.net

広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月25日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

